



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度
テーマ

国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」

地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、
そして自己の成長へつなげよう」

熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎

熊本グリーンR.C. 会長 大友 利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリークラブ週報**

【2016年1月25日】

第1203回
2015-2016年度 第23回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「奉仕の理想」
(ロータリーソング)



来訪者紹介 (大友 利行 会長)

卓話者
学校法人 熊本学園 理事長 目黒 純一 氏

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

今回の卓話は、大学のお話だそうです。大学・ユニバーシティはヨーロッパにて導入された組織です。専門的な学問をめざすことが目的ですが、大学の大衆化が現実です。

さて、ヨーロッパでは、大学ユニバーシティには必ず神学部がなければなりません。神を「見えない世界」と考えているヨーロッパ人は「見えない世界」を扱わないと学問は成立しないという智恵を持っています。19世紀に史的イエスの研究がありました。イエスという人間がどこに生れ、どこで行動し、どこで死んだのかという資料を徹底的に調べました。実証研究の結果、一世紀にイエスという人間がいたことは証明出来ないという結論になりました。同時

にいなかったという事も証明出来ませんでした。ここでイエスの歴史追求は行き詰まりました。しかし、ここから二つの流れが生じ、一つはイエスがいないことを前提に人間がいかにか神という概念をつくって来たかを考える方向で、宗教学という分野となりました。もう一方はイエスがキリストであると信じていた人達がいたことは実証出来るとして、救いの内容を考える方向で、これが近代プロテスタント神学となりました。この様に我々の学問の歴史には宗教は深く関わっています。(佐藤優「世界史の極意」)

幹事報告 (山下 佳介 会員)

■ 例会変更

<変更>

【熊本りんどうRC】

2月25日(木)の例会は、夜の例会のため、同日19:00より行います。場所は未定です。

下記の例会は、西RC創立30周年記念例会のため、例会開催日時を2月17日(水)18:30に変更し、ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイにて行います。

- 【熊本西RC】 2月16日(火)
- 【熊本菊南RC】 2月17日(水)
- 【熊本中央RC】 2月19日(金)

卓話
予定

- 2/1 「大人に伝えたい絵本の魅力」
元 熊本グリーンロータリーアクト 吉田 美樹 氏
- 2/8 「第4回クラブ協議会」

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

出席報告

(河島 一夫 会員)

	会員総数	22名	出席率
1月25日	出席免除会員数	1名	47.62%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	10名	
1月11日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

委員会報告

①次回2/1の卓話者紹介

報告者：山下 佳介 会員

次回2/1の卓話者は元熊本グリーンRACの吉田美樹さんをお願いしております。「大人に伝えたい絵本の魅力」の題して、保育園、幼稚園、小学校など子供に携わる仕事を14年間されて、その間「家庭での読み聞かせ」の必要性を実感されました。そこで2月にカフェ&バーをオープンし、そこを拠点に絵本の魅力を伝える活動を行っておられます。卓話を楽しみにして下さい。

その他の報告

新会員推薦者バッジの贈呈

報告者：大友 利行 会長

国際ロータリーより新会員を推薦した方に推薦者バッジが届きました。これは国際ロータリーより半期に1度の割合で、その間に推薦を行った方あてに届きます。本日は、中島三千代会員の推薦者の仙波洋八会員に贈呈致します。



スマイル

(田中純司 会員)

●大友 利行 君

①「昨日の雪で、近くの広場で子供さんが数人で雪合戦をしているのを見かけ、昔を思い出して嬉しくなりました。元気な子供さんも多いんだな～と思いました。」

②「今夜の目黒様の卓話、楽しみにしています。ありがとうございます。」

●仙波 洋八 君

「目黒熊本学園理事長のご来訪を歓迎し、感謝申し上げます。ロータリーの仕事を一緒にしながら感じたことは「この方は人間が好きなんだ」と思ったことです。人に対する思いやりが深く、一生懸命に対応される姿を拝見していると、熊本県最大規模を誇る熊本学園の理事長として経営の最高責任者に就任されたことは、神の采配と捉えてなりません。身体に注意されてご活躍されることを願ってやみません。」

●河島 一夫 君、田中 純司 君

栗山 義則 君、長野 義文 君

十時 義七郎 君

「この冬一番の寒さの中、目黒学園大学理事長様、卓話の為に御来会頂きありがとうございます。卓話の内容も寒そうですね。目黒理事長様にスマイルです。」

3. 例会プログラム

卓話者

学校法人 熊本学園 理事長 目黒 純一 氏
「わが国の私学の実情について」



4. 閉会・点鐘

補助金

次回のプロジェクトは ビッグにしよう

ロータリアン行動グループがクラブと地区をお手伝い

1994年の国際協議会で、当時の次期ガバナー、ロバート・ジンザン(ドイツ)と、アデドラポ・ルファアデジュさん(ナイジェリア)が出会いました。ジンザンさんは人口問題に関心があり、ルファアデジュさんは国産の非常に高い出生率に懸念を抱いていました。

この出会いがきっかけとなり、ロータリーで最大規模のロータリアン行動グループの一つ、「人口と開発のためのロータリアン行動グループ」(RFPD)が誕生。メンバー数2万人を誇るこのグループは、これまで20年以上、ナイジェリアでの母子の健康プロジェクトに取り組み、ロータリー会員を支援し、大きな成果を挙げてきました。つい最近行われたプロジェクトでも、同国での高い妊産婦死亡率の原因に取り組みするために複数の病院を支援しました。

「プロジェクトの計画を立てる場合、まず幅広い観点から問題を検討し、徐々に重要な問題に何を絞っていくか」とルファアデジュさん。「このよう

にして、プロジェクト開始前に罹患率と死亡率の原因を特定しておくことが大切です。問題の根幹を理解しなければ、どんなに努力しても決して解決は望めません」

RFPDの成功は、クラブと地区のプロジェクトの質を高めるロータリアン行動グループの支援の一例です。RFPDについては「The Rotarian magazine」誌12月号をご覧ください。

高まる「行動グループ」の存在意義

世界に根強く残る諸問題に取り組む、最もよいかたちでプロジェクトを実施するには、クラブ会員以外の専門家協力を仰ぐ必要もあるでしょう。持続可能な改善策をもたすには、地理、地質、気候、地元文化などのさまざまな要因を考慮しなければなりません。

例えば、水と衛生のためのロータリアン行動グループは、水と衛生の分



ロータリーの母子の健康プロジェクトの一環として奇蹟された酸素濃縮器を使用している病院で子どもの患者を世話する医療従事者(ナイジェリア、カノ州にて)。写真提供: Taqis Zindenc

野のプロジェクトを計画するためのガイドラインを作成しました。さらに同グループは、ロータリー財団と協力し、地域ニーズの調査、実施可能なプロジェクトの立案、適切なテクノロジーの採用、補助金の申請、成果の測定など、専門知識を生かして援助を提供する専門家チームを派遣して、クラブや地区のプロジェクトを支援しています。

行動グループと協力する方法

① 行動グループのリストが行動グループ名簿をダウンロードし、実施したいプロジェクトの分野に該当するグループを見つける

② 行動グループが既に実施しているプロジェクトを資金面・技術面で支援する

- ③ 自分の関心に合った行動グループのメンバーとなり、スキルと知識を生かしてボランティア活動をする
- ④ 行動グループのメンバーを例会后招いて語をしてもらう
- ⑤ 行動グループの活動の詳細は、ロータリアン行動グループ年次報告書(英語)をご覧ください。

各種締切日とお知らせ

提出する	推薦する
2月29日 「The Rotarian」誌の年次写真コンテストへの応募締切日。	2月1日 ロータリーアクトクラーが「卓越したロータリーアクトプロジェクト賞」にクラブを推薦。
4月1日 会長賞の受賞資格となっている各項目を完了。各項目の進捗状況はMy ROTARYの各種レポートから確認できます。	3月1日 地区ガバナーがロータリアン配偶者/パートナー審仕功労賞の推薦書を出出。
出席する	
3月15日 地区ガバナーが意義ある業績賞に地区内のクラブを推薦。	3月15日 地区ガバナーが意義ある業績賞に地区内のクラブを推薦。
3月31日 2016年ロータリー国際大会(韓国)の事前登録割引の最終日。この日を過ぎてもオンライン登録を受け付けています(現地登録と同じ登録料)。	お知らせ クラブ会長:ロータリークラブ・セントラルに人力した日際への進捗の確認をお忘れなく。
3月31日 団体ホテル予約の宿泊者名を提出。	
4月15日 ロータリーの公式ホテル予約業者を通じた個人用ホテル予約。	

学友会はロータリーの大切な資産

イリノイ大学を卒業し、コロンビア大学で修士号を取得したドン・カーナーさんは、卒業後にシカゴに移り住んだとき、同窓会を通じてシカゴでの生活にすぐなじむことができた。この経験から、学友ネットワークのありがたさを身にしみて感じたカーナーさんは、元ロータリー奨学生でもある彼は、シカゴ・ロータリークラブに入会し、積極的に活動を始めた。

ロータリークラブの歴代最年少会長となりました。

その後、子どもに恵まれ、仕事が多忙になって前ほど頻りに参加できなくなったカーナーさんに、思わぬ機会が訪れました。7月、「Northern Illinois Rotary Alumni Association」(北イリノイ州ロータリー学友会)が正式に発足したのです。

学友会結成のメリット

ロータリー奨学金で人生が変わりました。ロータリーに恩返しをしたいと常々思っていたんです」と語るカーナーさんは、弱冠35歳で世界最大のロータリークラブの歴代最年少会長となりました。

学友会は、自分に合ったかたちでロータリーに参加し、恩返しできる方法だと、カーナーさんは語ります。新たに誕生した学友会の会長になった彼は、学友会について「各自の都合の許す範囲で参加でき、ロータリーと再びつながることのできる優れた方法」だと語ります。

参加の仕方は自由です。行事に参加して仲間との交流を楽しむだけの人もいれば、イベントの企画、理事会、財団への寄付など、もっと深くかわる人もいます。いずれの場合も、学友会は「学友同士をつながりを深めたための機会」となります。

参加の仕方は自由です。行事に参加して仲間との交流を楽しむだけの人もいれば、イベントの企画、理事会、財団への寄付など、もっと深くかわる人もいます。いずれの場合も、学友会は「学友同士をつながりを深めたための機会」となります。

重要なポイント

自身の経験を基に、カーナーさんが学友会結成のアドバイスをしてくれました：

➊ 理事会メンバーにはやる気がある人を選ぶ。さまざまな分野での経験をもち人など、多様なメンバーが集まるようにする。

➋ ロータリークラブの継続性を図る。ロータリー役員の内任は1年が多いが、やる気のある人には2年目にも理事会メンバーを務めてもらう。

FACT:
最近の調査によると、学友会の
54%
がロータリークラブまたは
ロータリークラブへの入会
に決心を固めています。

➌ 学友会イベントの数を増やさない(年に4~6回までに限る)。行事が多すぎると負担になりかねない。もっと参加したいと望む学友には、地元ロータリークラブの例会や活動への参加を提案する。

➍ 学友会の活動を楽しくする。「理事会メンバーが“楽しいこと担当係”を決め、ネットワークづくりと奉仕活動を楽しく織り交ぜています」

➎ 家族も一緒に。「家族も参加できる行事の開催を奨励しています」とカーナーさん。「学友会の活動やイベントが楽しければ、学友との関係が深まるだけでなく、その子どもや家族にもロータリーの素晴らしさを知ってもらえます」

ROTARY LEADER

2016年1月
第6巻、第4号

ロータリークラブと地区の役員向けの電子出版物、
「Rotary Leader」は、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリヤ語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語で発行されます。
発行者:
Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698
USA

ウェブサイト
www.rotary.org/ja
フックズ
1-847-866-9732
電話
1-847-866-3000

受信のお申込み
「Rotary Leader」の受信は、
www.rotary.org/myrotary/ja/
newsletterからお申し込み
いただけます。受信料は無料です。

著作権
©2016年国際ロータリー



投稿
「Rotary Leader」では、記事として掲載できるクラブと地区の活動(募金、広報、奉仕プロジェクト、会員増強など)の話題を求めています。原稿、写真、連絡先等は、Eメール「rotary.leader@rotary.org」までご送信ください。多くの原稿が寄せられるため、すべてを掲載することはできませんのでご了承ください。

編集主任
Arnold Grahl
クラブアドバイザー
Megan Moulden
執筆
Daniela Garcia
Dan Nixon
写真
Alice Henson
Monika Loznika
コピーライター
Heather Aniti
Carol Rosenthal
校正
Kelly Doherty
翻訳
国際ロータリー-日本語課



イリノイ州北部学友会によるビーチ清掃活動に参加したシカゴ地域の学友とR学友担当職員。